

世界の人々との交流の拡大

世界の人々との交流拡大を目指し、地域外交の深化や通商の促進、国際競争力の高い観光地づくりを進める静岡県。今回は、国内最大クラスの観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン」で、新たな魅力づくりを推進する本県の取り組みを紹介する。

国内最大級の観光キャンペーン開幕！

本県の総力を結集して新しい魅力づくりへ

キャッチフレーズは アツパレ しずおか元気旅

国内最大クラスの観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン(DC)」の本県開催が、いよいよ本番を迎える。DCは、地方自治体と観光関係者が、観光資源の発掘や開発、観光客の受入体制を整備し、JRGグループ6社と連携したPRを行い、全国からの集客と地域の活性化を図るもの。静岡DCは19年ぶり、今回で3回目となる。本番期間の2019年4月～6月の3カ月間に、1年前のPRDCと1年後のアフターDCを加え、約3年間にわたり実施される。

DCのキャッチフレーズは「アツパレ しずおか元気旅」。今年3月31日、JR静岡駅でのオープニングセレモニーをもって開幕し、本県の観光ポスターが全国のJR駅で見られることになる。

旅行商品の開発を PDC Aサイクルに

本県は昨年、全国宣伝販売促進

本県は、霊峰富士をはじめ、伊

主な特別企画	
韮山反射炉 × 人間国宝 野村万作・野村萬斎 狂言の華 薪狂言の夕べ	伊豆の国市
富士山本宮浅間大社・富士山世界遺産センターライトアップ	富士宮市
久能山東照宮夜間特別拝観「天下泰平の竹あかり」	静岡市
臨済寺特別拝観	静岡市
遠州三山風鈴まつり お茶スイーツめぐり	袋井市
～浜名湖花博 15年目の春～浜名湖花フェスタ2019(特別展示等)	浜松市
アツパレ元気フェア(特別メニューの提供)	県内9カ所の漁港・漁協食堂

多彩な切り口で造成された旅行商品は本県の多様な魅力を物語っている。



旅行会社ら800人以上を招いた全国宣伝販売促進会議。市町長らも出席し、本県の魅力を大いにPRした。



全国の主要駅や旅行会社店頭などで配付されるDC公式ガイドブックには、DCならではの特別企画や魅力的な観光情報が満載。

豆半島、駿河湾、浜名湖など美しい自然とともに、各地域に根ざした歴史文化を有する。それはまさに「海と山の風景の画廊」である。静岡DCは、本県の観光資源や文化などの多彩な魅力を全国に向けて発信する絶好の機会だ。

観光を主要産業のひとつとして位置づける本県は、今回のDCを通じて、旅行商品の開発力向上を図りたいと考えている。そのため、本県を訪れた旅行会社や観光客の意見を踏まえ、現状分析、課題の抽出を行い、改善。すなわち、旅行商品の商品力のアップにつなげていく。この

全県の一体感を醸成する 静岡DCに期待

例えば、ライトアップイベントを企画・実施する場合、夜間における会場までの交通手段や、宿泊場所などの受入体制が課題になる。企業や地元の参画を促すことによりPDC Aサイクルがきちんと機能すれば、商品化につながり、地域の一体感や地域力の向上も期待できる。

一方で、本県は観光資源が豊富なゆえに、観光のテーマをひとつに絞りきれないというジレンマを抱える。また、東西に長い本県では、それぞれ特有の自然、歴史、文化を持つため、エリアを跨いだ観光商品を開発しにくいという側面もある。しかし、今回の静岡DCは、個々の観光資源を磨き上げるだけでなく、複数

の地域をつないでいくきっかけとなり得る。今までは点で存在していた各地域の魅力は線や面へと広がる。それは、旅の楽しみ方を多様化することになり、観光客の滞在日数やリピート率の向上につながるはずだ。今までは、別々の観光地として捉えがちであった富士山と浜名湖がコラボレーションするような商品も増えていくかもしれない。

今年、来年と、国際的なスポーツイベントも県内で多数開催され、本県へ訪れる観光客数が飛躍的に増加すると見込まれている。今回のDCはそのタイミングで行われ、多くの観光客に本県の魅力を発信し、周遊を促す絶好の機会となる。自治体、観光関係者、市町、地域住民が一体となったおもてなしができれば、観光客の多様なニーズにこたえることが可能になり、旅の満足度も高まるだろう。ふじのくに静岡県のDCを全県一体と地域づくりを進めていきたい。



ライトアップした世界文化遺産 韮山反射炉前特設舞台で人間国宝 野村万作と野村萬斎による狂言の特別公演。



中東遠エリアのDC特別企画「遠州三山風鈴まつり お茶スイーツめぐり」。DCに合わせ5月中旬から開催。三山オリジナルのお茶スイーツも楽しめる。



中部エリアのDC特別企画「臨済寺特別拝観」。通常2日間のみの公開日を拡大。座禅体験もできる。